

太宰府市副市長

はらぐち のぶゆき  
原口 信行



学校を卒業した後、大阪でしばらく民間企業に勤めていました。独身寮が奈良にあり、そこから近鉄奈良線で大阪都心までの通勤です。

寮の裏手に赤松林があり、駅までの道程で「ケンケン」とキジの鳴き声が聞こえました。満員電車に乗る前のホッとする時間でした。

太宰府市に転職後、長女の小学校入学を機に、史跡地にほど近い市内のマンションに転居しました。実はここでも道を歩けば「ケンケン」とキジの鳴き声が聞こえます。

奈良も太宰府も、自然の中に歴史が息づくとても素晴らしい街です。そこで私は主に公共施設などの整備、都市計画などのまちづくりに従事してきました。

定年後は秘書係に再任用され、それからは市民の皆様の声を聴き、出来るものから政策に反映させることが主な仕事になっています。

史跡地の先進的多用途活用をはじめ楠田市長の各種施策を推進し、皆様のご期待に少しでも応えられるよう努力して参ります。

### 特集

【予算特集】令和5年度当初予算 …… 2～3

令和5年度主な事業 …… 4～8

5月は消費者月間です …… 12

民生委員・児童委員をご存じですか …… 13

後期高齢者の集団検診が始まります  
後期高齢者医療保険料算定方法が決定  
…… 14

新型コロナウイルスワクチンの接種について  
…… 15

市からのお知らせ …… 16～22

【保存版】介護予防のための健康づくりカレンダー  
…… 19～20

連載 …… 23～31

なんでも情報コーナー …… 32～40

【連載関連】歴史的風致維持向上計画(第2期)  
認定ほか …… 41

太宰府の文化財 …… 42

# 市政ニュース

## 令和発祥の都太宰府「梅」プロジェクト特集



市内史跡地で収穫した梅を使用してさまざまな製品が完成し、発表会や報告会などを行いました。

### 梅プロジェクト総合イベント開催

3月30日(木)、令和発祥の都太宰府「梅」プロジェクトの総合イベントを開催しました。本イベントでは、史跡地に新たに南高梅の木110本を植える植樹セレモニー、新製品「蝶矢謹製大宰府梅酒」完成発表会、太宰府の梅分析調査研究報告会を行いました。

植樹では、本プロジェクトにおける梅の調査研究、商品開発に役立ててほしいと、日本経済大学、福岡大学から梅の木が寄贈されました。

蝶矢謹製大宰府梅酒は、粘り強いトップ交渉を重ね、令和の都だざいふのストーリーと世界のチョーヤの技術のコラボレーションで至極の味わいとなりました。限定500本の本市ふるさと納税返礼品としています。

梅分析調査は、福岡大学や福岡農業高校が共同研究を行い、太宰府の梅の成分やその健康効果などについて、分析方法を確立するなどしました。



史跡地に植樹された梅の木



【蝶矢謹製大宰府梅酒】



梅分析調査に携わる関係者

※ふるさと納税返礼品の発送は、市外在住者に限ります。